

00/502051

DT04 Rec'd PCT/PTO 30 JUL 2004

[Document Name]

Submission of Certificate
in relation to Exceptions
to Lack of Novelty

[Date of Submission]

Feb 5, 2002

[Submitted to]

Commissioner,
Japan Patent Office

[Identification of the Case]

[Application No.]

2002-023554

[Entity Submitting the Document]

[Discernment No.]

396020800

[Name]

Japan Science and
Technology Agency

[Agent]

[Discernment No.]

110000084

[Name]

THE PATENT CORPORATE BODY
ARUGA PATENT OFFICE

[Representative]

ARUGA Mitsuyuki

[List of Submitted Item]

[Name of Item]

Certificate for
Requesting Application of
Provisions Related to
Exceptions to Lack of
Novelty of Invention

2 Copy

Diabetes Improved by Adipocyte-derived Hormone

Findings by Associate Professor Kadowaki (University of Tokyo) and his colleagues

A hormone secreted by adipocytes, which store fat in the body, was found to lower blood sugar level in animals. This finding is significant in that it might lead to development of a new drug for treatment of diabetes. Associate professor Takashi Kadowaki, of the Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Medical Doctor Toshimasa Yamauchi, and others will release the results in the August edition of the U.S. medical journal "Nature Medicine."

Function Confirmed: Lowering Blood Sugar Level

The hormone is adiponectin. For study, mice lacking fat tissue were artificially created. The mice developed type 2 diabetes, which is characterized by high blood sugar resulting from an impaired response to insulin. When the mice were treated with adiponectin and leptin, which are hormones, the mice recovered to almost normal conditions. Among Japanese patients suffering diabetes, 90% or more suffer type 2 diabetes.

When adiponectin was administered to experimental mice which had suffered type 2 diabetes or which had been obese, decrease in blood sugar level or other therapeutic effect was

observed.

In parallel with the above study, Kadowaki and his colleagues also conducted a genetic investigation on Japanese people, focusing on genetic differences between people who are susceptible to diabetes and those who are not susceptible to diabetes. Their results show that a person having a specific type of gene that encodes adiponectin produces a smaller amount of the hormone and is prone to suffer type 2 diabetes. The specific type of gene is considered to be intimately involved in development of diabetes among Japanese.

Kadowaki said, "Adiponectin has also been known to have a function of inhibiting arteriosclerosis. Therefore, our study results may open the way to the radical treatment for alleviating lifestyle-related disorders, including obesity, diabetes, and arteriosclerosis."

【書類名】 新規性の喪失の例外証明書提出書

【提出日】 平成14年2月5日

【あて先】 特許庁長官 殿

【事件の表示】

 【出願番号】 特願2002-023554

【提出者】

 【識別番号】 396020800

 【氏名又は名称】 科学技術振興事業団

【代理人】

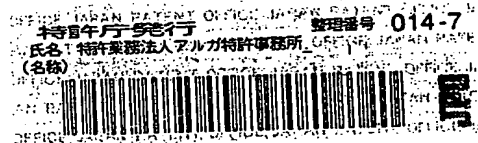
 【識別番号】 110000084

 【氏名又は名称】 特許業務法人アルガ特許事務所

 【代表者】 有賀 三幸

【提出物件の目録】

 【物件名】 発明の新規性の喪失の例外の規定の適用を受ける
 ための証明書



NHK

連結売上高7212億円

昨年度 フジTVの1.6倍

NHKの連結決算が、30日にインターネットで公表された経営委員会の議事録資料で初めて明らかになった。00年度の子会社20社分を合わせた連結売上高(試算)は、民放トップのフジテレビジョンの約1.6倍にあたる7212億円。子会社などを通じた業務拡大による肥大化が改めて浮き彫りになった。

連結決算の対象は、NHKの出資比率が50%超の子会社20社。番組制作のNHKエンタープライズ21、テキストやビデオなどの製作を受け持つ日本放送出版協会、携帯電話のインターネットサービスへのニュース配信も手がけるNHK情報ネット

トワークなどがある。大河ドラマなど地方での番組制作や催事の企画・運営をする北海道や東北、九州などの地域会社や、スタジオ設備の設計・施工会社も含まれている。連結売上高はNHK単体の売上高より千億円、68

近く大きい。連結当期利益は2511億円で単体より28億円多い。連結総資産は7808億円(単体6915億円)だった。議事録では、子会社などを通じた「孫会社」への間接出資が13億円、68

社にのぼることも明らかになった。NHKは民間企業とは違って、「実質的な支配会社」は連結決算の対象に含めておらず、グループの実態すべてが連結決算に反映されているわけではない。

受信料で運営され、放

脂肪細胞出身ホルモンが糖尿病改善

体内で脂肪を蓄える脂肪細胞から出るホルモンに血糖値を下げる働きがあることが、動物実験で確認された。糖尿病を改善する新薬の開発につながる成果という。東京大学大学院医学系研究科の門脇孝・助教授や山内敏正医師らが米医学誌ネイチャー・メディスン8月号で発表する。

血糖値下げる働きを確認

このホルモンはアディポネクチン。人工的に脂肪組織をなくしたマウスを作ったところ、インシュリンがうまく働かず血糖値が上がる2型糖尿病状態になった。アディポネクチンとレプチンというホルモンで治療すると、ほぼ正常に戻った。日本人の糖尿病の9割以上が2型だ。

門脇・東大助教授ら

また、2型糖尿病にかかったり肥満したりする実験用マウスにアディポネクチンを注射すると、血糖値が下がるなどの治療効果があった。

門脇さんはこの研究と並行して、糖尿病になりやすい人となりにくい人の遺伝的な差を日本人で調べている。アディポネクチンを作る遺伝子

で特定の型をもつ人は、このホルモンが少なく、2型糖尿病になりやすいことを突き止めた。この型の遺伝子が日本人の糖尿病の発病に深く関係していると考えられる。

門脇さんは「アディポネクチンには動脈硬化を抑える働きがあることも分かっている。肥満、糖尿病、動脈硬化という生活習慣病全体を改善する根本的な治療につながれるかもしれない」と話す。

送法で業務範囲を一放逐している。今回、連結売とその付帯業務」に制限されているNHKが、子会社や関連会社を通じて業務の拡大を進めることには民放などが強く反対

また問われそうだ。

追加公認し
自民は65に
自民党は30日、参院選
宮城選挙区で無所属で当

渡日治療の在韓被爆者

がん発見4.7%の高率

広島の病院
337人集計

広島・長崎で被爆し、島市の民間病院の調べで、韓国に住む人たちは、日本に招かれ「渡日治療」を受けた人のがん発見率が、4.7%の高い割合に達していることが、広

たのは初めて。84年から渡日治療に訪れた在韓被爆者延べ約450人の8割近くを受け入れている広島市中区の河村病院がまとめた。

大勝でも反応クー

「靖国」橋本派から冷風

■自民

た首相の第一声は軽口で始まった。
「おはよう、よいよい、おはよう、だ」
「野球で言えば、パン」
トも長打も盗塁も出来て勝った感じがした。首相周



参院選の勝利を受け、自民党役員が同席する中で会見する小泉首相(右端) 30日午後3時、東京・永田町の自民党本部で

辺の声も弾む。自民党役員会で早速「統投」が決まったが、側近は「これだけ勝ったんだから当然だよ」。

「改革」への自信はさらに深まる。首相は記者会見で「道路特定財源などの見直しが必要」という意見が、自民党の中でも、圧倒的多数になると信じている。

構造改革の中身が具体化するに当たって強まる見られていた橋本派などの「抵抗」も、「小泉さんは救世主」(三役の一人)である以上、

「小泉人気で当選した議員に反小泉的なことは言えない」(加藤派幹部)からだ。

「選挙後に内閣改造をしないなんて聞いたことがない。一部閣僚の入れ替えは必要だ」という声も大勝にかき消された。まさに選挙後も「小泉風」の風速は減じないようなのだが……。

死角がないわけではない。自民党の加藤紘一元幹事長は「景気と外交だ。改革の具体的内容に入る前に、外交や世界的不況で波をかぶる場合も

「改革の言葉だけで買いが入るほど甘くない」

「売り」一色、トリプル安

■市場

30日の金融市場は、初の国政選挙を大勝で乗り切った小泉政権の足もとを「売り」で揺さぶった。東京株式市場は、ほぼ全面安となりTOP

IX(東証株価指数)は年初来安値の水準に迫り、日経平均株価は昨春の銘柄入れ替えの影響が残りとはいえず、数字の上ではバブル後最安値を更新。外国為替市場では円安が進み、債券も小幅

